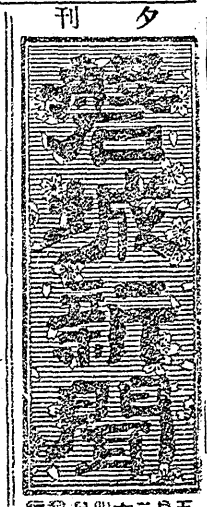
夕刊



五月二十四日發行

定價（郵送料共）一ヶ月金六拾五錢
廣告料（一段通常）金六拾錢（五號十二字詰一行一回）金九拾錢（公開指定一行一回）
編輯兼發行人　磐城新聞社　柏木栄
福島縣磐城郡平町十六字宮下
發行所　磐城新聞社
發行所電話（平）一〇八（磐城）一〇八　東京振替口座　五六五五番

（日曜祭日翌日休刊）

隨筆……

關西四國の旅

山田生

×

京都では加茂川へりに宿つた、櫻は過ぎたが土手の柳の新芽も色鮮かで『柳櫻をこきまぜて』の風光が忍ばれる、この日恰も煙雨、東山三十六峯眠るが如く『春ものだと思つた、その他の頃じや濡れて行かう』といつて見たい樣な氣にもなる

智恩院では東山天皇の御命日でその御法要が營まれてゐた、色とり〴〵だが格好は同じいでたちの僧侶數百の行列を左甚五郎の作だといふ驚ばりの廊下に座つて拜するの光榮を得たこんな多量な僧侶の集團は見た事がないので側の巡査に若淨土宗の坊さんかと聞いたら、然かり京都には七萬の僧侶がゐるといつて意氣揚然と胸をそらしたものだ、寺内はまるで御宗旨違ひだ建物幾百棟、境内の面積七萬坪と案内者が朗讀の樣な說明をする、又七萬か、寺院の閑寂味といつた樣なものを味ひたいと思つて來たのがまるであべこべだ

頭ごなしに壓迫される樣な氣ばかりする、ほう〴〵の体で山門を出たら『花は謹く希望の色、浪は揚く實相の音』といふ掲示があるろくに意味は解らないがやゝお寺に來た樣な氣がした

三條の橋際にある高山彦九郎の銅像はいゝ、その出來は非常にいゝが、三條の橋際に置かれたといふ事がいゝ銅像はよろしくかゝりたい、今度の旅行でこれ程多度津海岸の一太郎やイの老婆の銅像はあつていゝ像を設立するものの心すべきだ

木かげ

範宗

日かげ　木かげ
子供二人
集つて
何してゐるの
『僕にもませな』
『あなたしにませて』
日かげ木かげ
頭四つ揃つた
頭四つ寄せて
『何して遊ぼ』

伊豆吟行（六）

華生

蓮臺寺より修善寺へ

ぐん〴〵とうねりうねつてバス跳る
右相模左靜河の海を見て
船原の峠の上や富士望む
この邊り昔を偲ぶ跡ばかり
到るとこ出湯の烟の活々し

『何して遊ぼ』

5月25日

△楠木正成湊川にて討死（延元三）△吉田松陰萩より江戸送りとなる（安政六）△木曾川治水工事から薩摩藩士四十九名自刄す（寶暦五）△加茂眞淵、松坂に本居宣長を訪ふ（同一三）

春游

珠雲　小野務平

雨餘天麗入湖明
帽影釵光隊々行
桃李花間鶯語滑
柳邊春燕去來輕

今日の訓へ

蒼名　山人

暑い寒いはどうでもさけることは出來るが、人の批判は避け難いものである、人の批判はさけ得るも、吾が心の暑さ寒さはとれないものである。これさへ取り得ば、いづこへ行つても春風の如く心は爽かである、道理で『暑い寒いも彼岸迄』といふことがある

講談

妖刀流轉（えうとうるてん）

（95）

邑井貞吉演
佐々木今朝吉畫

魔劍の行方（一）

痛む足を引ずり〴〵歩き出した十内、何方へ行つていゝか判らないが、兎も角この流れに沿つて行つたら道のある處へ出られようといふ考へ、虫の這ふように迯る中、ヒョイと十内が傍の崖を見上げた目の前にブラ下つてゐたものを見て十内想はず

十『キャッ』

と叫んだのは、これぞお紋が最後の有樣、十數丈の斷崖から眞逆樣に墜落したその途中飛出した岩角に頭を打付け、腦骨微塵に紛碎いたし、眼球は飛出す、全身は血潮を浴て唐紅、谷底まで落ちもやらず、屍體が木の根へ引かゝり、衣類は破れて半身を露はに現はし大の字になつて引かゝつてゐる酷たらしさは、磔刑にかゝつた形をその儘、まことに人の呪ひは恐ろしいもの、了念が最期の怨み生を引いて、妖婦お紋が眞なる報ひ恐ろしき事どもで有ります

場所は深夜の山奥で折も折こんな慘狀を屢然と見たのだから十内は腰をぬかさぬばかりに打驚き、眞つ暗三方逃げ出しかゝつた足の先にギラ〴〵光るものがある、見るところが鮮血に染まつた白刄だ

ウワッと驚いて一足あとへ退る途端、遠くの方に當つて狼の吠へる聲、十内は夢中でその拔刀を拾ひ上げ

の男が二人連れ

見ると十内が片手に血のついた拔刀を携へ血だらけ泥だらけになつて半氣を失ひ、苦しさうにうめいてゐるから樵夫兩名驚いて了つたが、兎に角氣の毒だから手當をしてやらうと地方の人は親切なもので、これから兩人が十内を手擔きにして連れて參りましたのが小川といふ村

平吉といふ樵夫が自分の家へ十内を寢かせ、元より醫者は居りませんが、兎も角農業を片手間に脈を取る

減茶々々に振廻しながら谷底の岩道を辷り轉びつ一生懸命、川の流れを道案内にして急いだが、氣がつくと早曉方近く東の空が白んで來たような鹽梅

ヤレ嬉しやと太息を吐いた十内が虎口をのがれし心地して辛ふじて道ある處へ出た

九死の中に一生を得て命からがら笠取の麓へ出られた十内、恐怖と疲勞に身體綿の如く、おまけに谷へ落ちた時の痛みが益々激しくなりましたので、今は歩行も成り難く搖へかねて道端へ打倒れ、唸つて居ります

處へ通りかゝつたのは樵夫

めてゐる中に元氣も恢復し參りました。平吉も喜び

平『思ひの外早くよくなりしつて好い鹽梅だのう』

十『ハイ有難う御座います

あの儘になつて居りましたら生命も無くなる所だつたと思ひます、飛んだ御厄介になりまして申譯も御座いません』

平『何の〴〵、その禮には及ばねえだよ、人間は相見たがひ、決して遠慮は無えだから、ゆつくらと養生をしなさるがいゝだ、然し乃公ア初めお前が倒れてゐた所を友達の兼藏と二人で見つけた時は魂消ただ、といふのは何しろお前、片手にしつかりと血だらけの拔刀を持つて居るではねえか今までは身體に觸ると可かねえから乃公ア何にも聞かなかつたが全體お前は何うしただネ』

廣告

地方性と都會性

藤本光孝

二

實際問題として平俗な論議は注意を向けなければならないと思ふ

○

而し稱つて、讀者のかかる要求にのみ忠であつて、彼等に彼等の住む土地土地の報道を與へなかつたら、世の中には樣々の主義傾與い『田舍新聞』からの飛言葉で片付けられる樣な單純な物ではなく、もつと人間としての憧憬、智的慾望といつた風の本能的な深き要求をもつ物であることに、一應は注意を向けなければならないと思ふ

興か味とか云ふ薄つぺらな

世の中には樣々の主義傾與い『田舍新聞』からの飛言葉で片付けられる樣な單純な物ではなく、もつと人間としての憧憬、智的慾望といつた風の本能的な深き要求をもつ物であることに、一應は注意を向けなければならないと思ふ

○

而し稱つて、讀者のかかる要求にのみ忠であつて、彼等に彼等の住む土地土地の報道を與へなかつたら、

の心理は知らない土地の一一都會的なニュースなり寫眞なりに、より魅力を感じ飢えてゐるのは爭へない。この一般心理は、物好きとどうか？

のすすみ方をすれば、地方に住んでゐる人々（讀者）

實際問題として平俗な論議は注意を向けなければならないと思ふ

○

而し稱つて、讀者のかかる要求にのみ忠であつて、彼等に彼等の住む土地土地の報道を與へなかつたら、

世の中には樣々の主義傾與い『田舍新聞』からの飛言葉で片付けられる樣な單純な物ではなく、もつと人間としての憧憬、智的慾望といつた風の本能的な深き要求をもつ物であることに、一應は注意を向けなければならないと思ふ

○

而し稱つて、讀者のかかる要求にのみ忠であつて、彼等に彼等の住む土地土地の報道を與へなかつたら、

の心理は知らない土地の一一都會的なニュースなり寫眞なりに、より魅力を感じ飢えてゐるのは爭へない。この一般心理は、物好きとどうか？

のすすみ方をすれば、地方に住んでゐる人々（讀者）

時論

市議と市長選擧

平市の自治發達史上最も絢爛たる一エポックを劃する第一次の市會議員として果して如何なる人物を物色し得るかは、單り新市民の健否を卜すべき試金石である許りでなく、今後四年間の市政の振否を決し、或は平市民の自治權に重大な影響を及ぼすかも知れない問題である以上、全市民が之に競き極めて切實なる關心を拂ふべきは當然である自治に何等の定見を有たず淺薄なる名譽慾以外何物も無き人物が吾人の代表として好ましく無いのは道理と經驗に於て異議の無い處であるから各有權者が外部よりの壓肘を排し、飽迄自己の理想を中心として進むべきである。蓋し市制の意思機關たる市會の意思が市會議員の背後に在る『見えざる政府』によつて決せらるるボス政治の流弊なども斯かる照準の下に選はれた議員以外には恐らくその拔本塞源的除去を望み得ぬ事で此點今からお互の反省を必要とする處である、次に市長の問題であるが、町から市への過渡期に處する市長臨時代理者として甯沼現町長が殆ど確定的の平町に於ては或は一片の杞憂に過ぎかも知れぬが市長の選任が全然市會に委されてゐる現行制度に於ては各議員が餘程公平無私の大局的見地よりするのでなければ『市民の市長』よりも『市會の市長』を選ぶ惧がある事を警戒しなければならない其の市會にとつて都合の良い人物であるか否かといふ點よりも三萬餘の平市民がその代表者として誇り得る人物であるか否かの點が人選の第一標準なる事を要するのである。市會の顧使に甘んずる人物よりも却つて之を屑しとしない强い信念の持主を選ぶ雅量が市會に無ければ市民の欲する市長は到底得られるものではあるまい。卽ち市會による間接公選とは謂へ市民の直接公選と同樣の効果を擧げることを目標にして詮衡に努力せん事を豫め切望に禁へない

教室の下から轟然爆發
天井裏をふつ飛ばす
昨夜入山小學校の慘事

二十三日夜七時四十五分頃湯本町寶海入山小學校東側四年生教室の床下から轟然爆發、北側廊下二間四方、天井約一坪から屋根四尺四方をぶち拔いたが、幸ひ夜間の事とて一名の死傷者もなかつた急報により平署から柴田署長以下現場に急行、非常線を張つて犯人の捜査を開始して間もなく同九時頃に至つて犯人は同町三函駐在所に自首したので直に一應の取調べをなし本署に連行收容した

赤井村福島炭礦坑夫相馬郡中村町新沼字大森一二〇生れの廣川貞治（四七）

で取調べの結果次のやうな『呪ひの爆破計劃』がひそんでゐる事が判明したは去る廿二、廿三日の兩日に亘り植田町菊田座に於て開催したが兩日間共大入滿員盛況であつた

呪ひの陰謀

犯人貞治は元入山炭礦の坑夫、日本坑夫組合に加盟してゐる、一方犯人貞治は福島炭礦の坑夫として働いてゐたが昨年暮から腰部の神經痛を思つて以來仕事も出來ず妻ハツエ（四一）と幼兒三人を抱えてその日暮し、生活苦のなかにしみ〳〵吾子の活潑なるのを見てゐる貞治は

『治平が不良化したのは小學校時代につまはじきされたからだ……』

と一途に入山小學校を呪ひ、かねて用意のダイナマイト八本と導火線を携へて昨夜七時頃湯本町に至り學校の通風口から床下に忍び込んで點火、轟然たる音響を耳にしながら附近の居酒屋で狩りにひつかゝり懲役八ケ月の刑を終へて福島刑務所

誤つた親心！
恐るべき犯行の動機

犯人貞治は元入山炭礦の坑夫、日本坑夫組合に加盟してゐる、一方犯人貞治は福島炭礦の坑夫として働いてゐたが昨年暮から腰部の神經痛を思つて以來仕事も出來ず妻ハツエ（四一）と幼兒三人を抱えてその日暮し、生活苦のなかにしみ〳〵吾子の活潑なるのを見てゐる貞治は

『治平が不良化したのは小學校時代につまはじきされたからだ……』

と一途に入山小學校を呪ひ、かねて用意のダイナマイト八本と導火線を携へて昨夜七時頃湯本町に至り學校の通風口から床下に忍び込んで點火、轟然たる音響を耳にしながら附近の居酒屋で狩りにひつかゝり懲役八ケ月の刑を終へて福島刑務所

現場附近の慘狀

現場は入山小學校の東端に位する四年生教室の北側廊下で土台石は吹つ飛び窓硝子等も十數枚メチャ〳〵に破壞して慘澹たる光景を呈して居る、裝塡したダイ八本中四本は不發に終つたのでこの程度で濟んだが若し八本全部が爆發したならと關係者を慄然とさせてゐる

使用のダイは盜んだもの

今年二月から着手

恐るべき爆破計劃に使用したダイナマイト並に導火線は貞治が福島炭礦粘土山に働くうち今年二月前後六回

岩堀校長談　同校長岩堀宅治氏は語る

丁度私が風呂へ行く時轟然たる音響が起つた、時々炭礦で發破作業をするのを聞いてゐたので最初はそれだと思はなかつたが聞いて吃驚した、あの程度で止まつたのは不幸中の幸ひでした

消防劇盛況　植田響

植田響では昨夜菊田座に於て開催したが兩日間共大入滿員盛況であつた

磐中軍惜敗

昨日福島高等商業學校第十五周年記念祝賀並に競技大會へ出場した磐中軍の成績左の如し

△劍道

第一回戰

磐中7——5達中

准決勝戰

磐中6——6田中

決勝戰

磐中2——10福商

△籠球

第一回戰

磐中60——8白石中

准決勝戰

磐中16——32福師

△庭球

第一回戰

磐中3——1相中

准決勝

磐中0——3双中

東日募集の市章入賞決る

一等は東京山口氏

東京日日新聞社で募集してゐた平市制賞施祝賀の市章は應募四千七百點に上り昨二十三日青沼町長らによつて審査した結果入賞を左の如く決定した

（一等）東京市麻布區木村町一〇九山口己代司（佳作）平町長橋町六〇鈴木哲世　東京市世田谷區上馬町一丁目五五一三船寅雄　平町長橋町六〇鈴木哲夫　平町五丁目馬目

急激な增加はなくも
概して好過程を辿る
相當の彈力を孕む炭況

常ならば漸く需要薄季に入る昨今とて常磐炭界の動きに幾分消極的の豫想が行はるるは寧ろ當然の事であるが去る十一日以降二十日迄の發送高は營業用四、五八八車五七、六七二瓲　省用一、二三九車一五、九八四瓲　合計五、八三三車七〇、一〇〇〇瓲

で前年同期に比し

（增差）營業用二〇四車五、八一四瓲　省用△二一〇車二、二五八瓲　合計△六車三、五五六瓲

で卽ち車數に於ける少許の減に反し數量に於ては一日平均約百二十瓲の增加を示し前、中旬を通算すると車數百八十八車減、數量三千八百五十二瓲の增となつてゐる

入山破竹の勢ひ
遠來日立を屠る
きのふ庭球第五回戰

入山庭球部では既報の如く昨二十三日午前九時半から正午日立溫交軍を迎へて第一回戰を交へたが左記戰績で入山軍に凱歌があつた、閉戰

第一回戰

入山　日立
石上　磯野
古内　澤
（丙）4——3（會）

第二回戰

石上　熊田
古内　倉
（丙）2——4（四）
橘　崎
比佐　黑澤
（4——1）
佐藤　高崎
比佐　竹
（4——0）
大高　崎
長谷川　沼
岩倉　3——0（四）
熊田　倉

古川植田町長再選
町會の大乘的態度に豫想された難問解決

古川傳一氏の滿期に因る植座一行は平町藝妓連、料理店兩組合及び素義若葉會後援の下に來月二日午後五時から樂樂館に於て開演する

植田町長の選擧は、同町に於ける政民兩派の勢力が全く互角の關係から古川、鷲南氏の何れかに決定するには規定の抽籤によらねばならぬものとし其の成行きに就ては多大の注視を向けられてゐたが、二十二日の選擧町會は昨二十三日に持ち越され、愼重審議の結果滿場一致古川氏の再選に決定したので從來動もすれば兩派の對立抗爭に殃された同町民は今回の町會に於ける大乘的態度を多として居る

唯介　平町紺屋町四本多幸七　同吉田武　東京市淀橋區戸塚町四丁目七五六田津宏　京城府御成町八五竹中矢　横濱市鶴見濱崎善三郎釜石市大波町八幡下熊谷禎謙

圍碁大會　平圍碁倶樂部主催東日平通信部後援の郡下圍碁大會は二十三日午前十時から平町一丁目倶樂部で三段佐藤庄太郎、初段前野澤勝平外各五名の陣容で今から同好者間に大きな期待を繫がれてゐる

一等佐々木　二等淺野
三等西蓮寺　四等篠田
五等岡田

新川改修認可
工費に七万圓

內務省では二十一日福島縣申請の昭和十二年度中小河川新川改良工事實施設計の件を左の如く認可した

一、工事施行記錄
內鄕村大字御蔭境、御厩小島地內、延長八五〇米
一、工費七萬圓

草野の違反に求刑　草野村會議員選擧の違反に問はれた松崎義隆外五名は二十二日平區櫻井檢事から左の如く求刑された

懲役五ケ月松崎義隆（四五）
罰金百五十圓義隆妻ミサオ（四八）　懲役二ケ月西山末藏（四三）　同三ケ月西山源藏（四七）　同三ケ月松崎寛（三八）　同四ケ月松崎勝彌（四〇）

天氣豫報

小名浜測候所發表

今晩は北藏の風雨
明日は西の風曇小雨天氣次第によくなる

二十五日（小名濱測候所發表）

滿潮前三、〇〇　干潮前一〇、三〇
滿潮後五、三五　干潮後一〇、三〇

田植は一と月も早い
地方最初の溫床苗代
川前村大河原青年の苦心

苗代の早播き其通なら來月中旬行はれる田植えを一ケ月も早く去る十四日終えたが地方最初の試みだけにその成果を期待されてゐる

この溫床苗代は四尺二間の構えで胡瓜、茄子式の播種をなすもの

今年は試作二反歩に田植えを了したものであるが出來栄えによつては來年から二町歩擴張すると意氣込んでゐる、村の更生は先づ米作の改良から——郡農會當局でも目下これが指導に當つてゐる

凶作克服へ

他凶作克服の研植えを一ケ月も早く去る十四日終えたが地方最初の試みだけにその成果を期待されてゐる

この溫床苗代は四尺二間の構えで胡瓜、茄子式の播種をなすもの

今年は試作二反歩に田植えを了したものであるが出來栄えによつては來年から二町歩擴張すると意氣込んでゐる、村の更生は先づ米作の改良から——郡農會當局でも目下これが指導に當つてゐる

川前村大字川前字山下谷の大河原清吉（三六）さんで、同村が一昨年の凶作にぶちのめされたのを痛感し熱心品種の改善等に頭をしぼつてゐたが今年は溫床苗代によつて早苗の生育に努めて普さんがゐる

滿庭ただ肅然
玉碎の雄魂を祀る

昨日作山一等兵町葬盛況

双に血ぬらず、萬斛の英氣を殘してハルビン病院に易り多數會葬者によつて蜒々長蛇の列を作つて初夏の海岸傳ひに同町小學校庭の式場に入り、江名守彌神官、增子亮照導師以下多數名により神佛兩式の祭式を執行多數弔辭朗讀、弔電の披露を了りいとも莊嚴裡に四時近く閉式、更に中の作埋立地に引き返し同町に於て埋骨式を執行、北滿警備の第一線に玉碎した作山一等兵の英靈は同宇丘上なる同家累代の墓域に安らかな永遠の眠りに就いた

賞した江名町出身故陸軍一等蛇作山又一君の町葬は昨二十三日午前十一時中の作場の自宅出棺

參謀總長　陸軍大臣　教育總監　留守司令官　岡村部隊長　宮城縣知事　ハルビン佐藤總領事　工兵第二聯隊長　伊藤部隊長外各方面より贈られたる多數

勝負予想

東京市本郷區湯島四丁目
高島易斷總本部　神誠

▲一白　平運にして從來の濕たいも次第に薄らぎて吉▲二黑　自己の力も加はり他の力も添へられ寄あり▲三碧　焦さうすれば當外の失敗を招くに至る危險日▲四綠　物事等閑となりて暗影を投ずる兆となる日▲五黃　口先より實行な旨とし勉勞ないとはされば吉▲六白　堅實なる信念に依りて終始一貫の志有れば吉▲七赤　物事遲々として進まざれど焦れば却つて不利▲八白　向ふ所敵なき如く勝利を博すべき幸運の日▲九紫　運氣沈たいす人の爲め足をすくはるゝ如き凶日

廣告

おてん呑兵衛　平田町末廣となり

平町田町　井坂產科婦人科醫院　電話五五九番

大阪文樂新義座來演　大阪文樂新義座　柴田　遠藤　堀川　瀧　崎田　入遠野　佐藤　氏名
新舊
上遠野　本署　入遠野　上遠野
植田署巡査異動　植田署では此程左記駐在巡査の詰め替へを行つた

生花教授　池ノ坊　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。平町四丁目和泉屋旅館　須藤まつの

證光院眞諦金響妙鑑清大姉、送葬の際は遠路の處御會葬被成下且つ御鄭重なる御香奠を賜はり御厚志の段難有奉深謝候、乍略儀御禮申述度如斯御座候　昭和十二年五月二十三日　多田井笑次郎　外親戚一同　敬具

新築落成

山田屋旅館　植田町　電話八番　藝妓屋　山田家

喜久國　小一郎　五今　愛つ
ぼ　か　太　ん　久
榮舟　助き　鈴香　郎郎　ら子　子ら　丸み

統制時代！！

愛國印全國統制小學生服　弊社は全國小學校兒童の服裝統一化を試みて非常時に相應しい男（國防色カルゼ生地）女學生服を製作發賣して居ります。

このカルゼ生地は堅牢な優秀地で仕立、特色としては

▲ポケツト、小股等十一ケ所にカンヌキを施し絕對にホコロビず。▲襟カラー及び袖口ボタンを附す。▲襟章學年番號及び愛國機國防マークを附す。▲修繕用豫備生地を附す。

高等科統制服　卒業後の便宜を圖り青年學校と同一型を製作し、敎育家及び兒童に絕對的の好評を賜つて居ります。

愛國印文部省陸軍省推奬
全國統制小學生服
縣下總代理店　三澤屋營業所　近藤兵衛　若松市大町三四の竪